

令和7年4月28日 第2232回例会

RI第2730地区

宮崎南ロータリークラブ

週報



変化を楽しみ、さらにロータリーの価値を高めよう！

5月の月間
青少年奉仕月間

本日の例会プログラム 第2233回例会 令和7年5月12日

- ・結婚・誕生日セレモニー
- ・青少年奉仕委員会卓話 黒田 福太郎 委員長
- ・ロータリー情報委員会 大迫三郎副委員長

会長挨拶

大迫雅浩会長



皆さん、こんにちは。

本日のゲストは宮崎を代表する太鼓一座、橘太鼓響座座長の岩切邦光さんです。後ほど外部卓話をいただきます。

先週末25日の土曜日は西都ロータリークラブの40周年に大浦幹事と2人で参加して参りました。会長幹事会の友情で、北ロータリークラブの手配したバスに便乗させていただきました。先日の当クラブの50周年にも5名のご参加をいただいております、「見本にさせてもらおう」といったコメント通り、全体の設えや流れは同じような感じでしたが、総勢17名での運営でしたので一人何役もして大変そうでした。当日は姉妹クラブとして、韓国は南慶州ロータリークラブから17名、大分県の宇佐八幡ロータリークラブから19名が参加されていました。あとはスポンサークラブである宮崎北から押川パストガバナー含め12名、他は中部グループのみの参加でした。

名簿を見ていると、韓国の方々はご夫婦でお名前が違うことに気が付いたのですが、調べてみると韓国は伝統的に絶対的夫婦別姓で、結婚しても改姓はできないそうです。女性は父親からのみ姓を受け継ぎ、またそれを自分の子に継がせることはできなかったそうです。近年、旧来の法制度は次々に変更が加えられており、2005年には男女差別の根源といわれた「戸主（こしゅ）制度」も「戸籍制度」も廃止されたそうです。「戸主制度」とは、戦前の日本統治下に日本から移植された戸籍制度の名残で、一家の家長に「戸主」という身分を与えたものです。1989年の法

出席委員会報告

島田博良委員長

●出席状況

日 状 況		前々回修正出席状況	
会員数	58名	メイクアップ数	5名
本日出席者数	35名	修正出席率	74.14%
本日欠席者数	23名	メイクアップされた方(敬称略)	
出席率	60.34%	井野元孝洋、大野 勇、堀内祐治	
		山地久守、渡邊友樹	
ニコニコ BOX	0 件 累計 73,000円	募金箱	5,585円 累計 175,933円

改正で、戸主の権利義務は大きく削減されたものの、「戸主」というポジションは残っていて、それは男性に優先的に与えられたそうです。結婚するときは、夫婦は別姓として、戸籍は男性の側に入籍する。戸主は夫であり、その横に別姓の妻、子どもたちは自動的に夫の姓となる決まりです。戸主というのは、かつての日本の『家制度』（いえせいど）固有の仕組みです。江戸時代の武士の家父長制を中心とした家族のあり方をベースとした考え方です。長男が全財産を代々承継していくことで「家」を守り伝えていくための仕組みですね。王政から幾多の内戦を経て、1987年に民主化宣言がされ、随分と年月が経ちますが、韓国の若者がいまのようにスタイリッシュになったのも2000年頃からだし、戸主制度が廃止されたのが2005年と考えると、その発展は目覚ましいものだ改めて感じました。

来週はゴールデンウィークで休会となりますが、皆さんにお願いというか御了承いただきたいことがありまして、実は翌5月12日は熊本から私の友人夫婦がメイクアップに参ります。と、いっても実際に会ったことはなく、熊本の同業者のロータリアンの先輩を通じて、ロータリーでご縁が繋がった友人です。

詳しい事情はまた改めて申し上げますが、コロナ前の6年ほど前だと思いますが、熊本の同業の先輩から「大迫ちゃん、相談があるったい。実はロータリーの後輩が、宮崎のシーガイアがお気に入り、お付き合いしている彼女にシェラトンでプロポーズしたいって相談を受けたっ

たい、あんた知り合いがおるやろ？演出とか考えてくれんね？」という無茶ぶりを受けまして…。

当時のメンバーで、今は退職をされた入佐さんにかかなり無理を言って、42階の落合シェフのイタリアンレストランアルコの良い席をリザーブして、43階、地上141m、270度パノラマのホテル最上階のチャペル「エル・シエロ」を少しだけお借りして、プロポーズのシーンを演出して見事ご結婚に至ったご夫婦です。

当日は私は生憎、出張で宮崎に居らず、電話やメールで何度も確認しながらでしたが…。そんなご縁でそれ以降、結婚式の写真を送っていただいたり、色々贈り物をいただいたり、新婚旅行のお土産をいただいたり、お子様が生まれたというお写真をいただいたり、まるで仲人の様なお付き合いをさせていただいています…。

ご夫婦ともに一度も会ったことは無いですが(笑)それで今期は私が会長をしていることもあり、その間に是非ということで、ご夫婦でわざわざ来県されることになりました。お子さんがまだ5歳と1歳ということもあり、旦那さんはビジターとして例会に参加、奥様はオブザーバーとして例会の冒頭だけ少しだけ参加していただき会長の時間でご紹介だけさせていただき、その後退席というふうに考えています。

ちょっと私的な面もありますが、ロータリーが紡いだ、ロータリアンのご縁ということで、ご容赦いただければと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

さあ 今日、新しい週のはじまりです！

上機嫌で!! 楽しく1週間を過ごしましょう!!!

幹事報告

大浦秀幸幹事



本日の幹事報告は2点ございます。

1. マイロータリー登録のお願いの用紙を本日受付でまだ登録完了ではない会員さんに配布しています。

今年度中に登録を完了したいのでご協力をお願いします。不明な点がある方は幹事大浦まで申し出てください。

2. 児童養護施設さくら学園さんより防災用品と商品券の寄贈の御礼とメッセージが届いております。このあとメッセージカードを回しますのでご覧ください。



5月10日(土)のゴルフコンペの件です。
当日の集合時間は、7時30分
雨天決行となります。

ゲスト卓話

(株)響 代表取締役社長 橋太鼓「響座」座長 岩切邦光様



本日はお呼びいただきありがとうございました。

私は、株式会社響代表取締役社長 橋太鼓響座座長岩切邦光と申します。皆さんにまずご報告があります。3月大分で行われた日本太鼓ジュニアコンクールにて、私も響座に所属する橋太鼓響座ジュニアが最優秀賞内閣総理大臣賞をいただくことができました。

この賞が取れたのは、もちろん、子供たちが頑張ったのと、毎日の練習に親がついてきてくれ送り迎えをしていただいたことが1番の勝因だと思います。

ジュニアのメンバーは、13名中、都城5人、綾町4人、国富町・宮崎市から集まった子供たちです。

毎日、20時から23時までの練習、また土曜日、日曜日は朝6時半からの練習、そして夕方の練習、すべてに親が送り迎えをすることになってます。大会演奏がある時も現地集合、現地解散です。

この協力があつたからこそ、この目標は達成されたと思います。響座では通算7度目の優勝になりますが、これも全国最多です。また、3大会連続日本一と言うのも最多です。子供もがんばりましたが、親の頑張りには頭が下がります。

朝5時から練習しても遅れることなく親が送って道場まで出てきます。その際親はバッチリ化粧してきます。これも凄いと思います。

現在、響座の道場では、150名を超える子供たちがいます。その頂点が響座ジュニアです。

太鼓だけではなく挨拶、感謝する気持ち、宮崎で生まれ、育つ素晴らしさ、感謝を持ち成長発信し、これからも、勝っておごらず負けて腐

らずの精神で頑張っしてほしいと思います。

私が和太鼓を始めるきっかけは、株式会社雲海酒造に入社した際に、宣伝隊として、はまゆう太鼓と言うチームがありました。

会社に入社して、若い順から和太鼓を叩かれ、時間外に練習をして、毎週土日は舞台があると言う日々でした。

しかし、残業手当でもつくし、おいしいものが食べさせてもらえるし、そんな気持ちから和太鼓を始めました。

しかし、舞台に立つうちに、練習すればするほど握手が多くなり、こんなにも人に感謝されるものかと、和太鼓を叩くたびに、自分の気持ちに熱いものを感じました。

そんな中バイクで事故を起こし、入院をし、病院のベッドの上で大分県湯布院の太鼓チームの特集がありました。

画面の中の和太鼓なのに、心が揺さぶられ感激でいっぱいになり、松葉杖をつきながら湯布院へと向かいました。

その時に会ったのが、長谷川代表で、仕事も1番太鼓も1番。家庭も1番その言葉に感動し、会社を辞め響座と言うチームを結成し、仕事は実家である百姓うどんにお世話になり、和太鼓チームをスタートさせました。

初めは、全くお呼びがかからず、毎日練習をする日々でした。

しかし、テレビ局の番組に取り上げられ、あっという間に年間200回以上の舞台をこなすことができました。



しかし、太鼓では飯が食えず、借金がかさむばかりでした。

そこで太鼓を叩くためには、事業しながら好きなことをやらないとダメだと言うことに気づき、響と言う会社を立ち上げ太鼓のために、和太鼓続けるために、子供たちを育成するために仕事が1番家庭が2番太鼓が3番で毎日を過ごしています。

しかしこの太鼓が続けられるのも太鼓を愛する仲間たちがいるから頑張れると思います。

苦しい時も、悲しい時もそばにいてくれ、毎日毎日を支えてくれる宮崎の太鼓仲間を、心から感謝しています。

● 宮崎南ロータリークラブ ●

事務局 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3 秀豊ビル4階
TEL. 0985-22-6767 FAX. 0985-22-9170
HP : <http://mm-rc.sakura.ne.jp/> e-mail : m.m-rc@alto.ocn.ne.jp

例会場 宮崎観光ホテル(毎週月曜日 12:30~13:30 開催)
〒880-8512 宮崎市松山1-1-1
TEL. 0985-27-1212